

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	キャリアアップセミナーF	
科目基礎情報					
開設学科	スポーツ健康学科	コース名	テニスコース	開設期	通年
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位	開講時間	時間割外	授業形態	実習
教科書/教材	セミナー、資格ごとに配布				
担当教員情報					
担当教員	セミナー開催協会などの講師		実務経験の有無・職種	有・スポーツ関連業界	
学習目的					
認定ストレッチングトレーナー・パートナー、キネシオテーピング、コンプレフロス、認定コンディショニングインストラクターなどの短期集中講座を受講し、様々な資格の取得や特殊な技術の取得を目的とします。 また資格や技術の習得をすることで就職やスポーツトレーナー、スポーツ指導者として、活動や活躍の幅を広げる事も目的の一つです。					
到達目標					
「仕事に就く」「健康に関わる」「指導する」ことを見据え、資格や特殊技術を取得することで個々のレベルアップを目標とします。 また、資格を取得することで就職、各種実習などの選択の幅を広げ、個人が活躍するためのキャリアアップにつながる事も目標です。					
教育方法等					
授業概要	資格取得のための短期講座。 短期講座を受講、終了後にテスト受け合格をすると資格取得などが可能。 シラバス「キャリアアップセミナーA～D」に関連講座を記載しています。 合計30時間の講座内容修了がキャリアアップセミナーFとなります				
注意点	一回の欠席でも資格取得は不可能になります。 講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないようにして下さい。 身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価します。		
	小テスト	%			
	レポート	%			
	成果発表 （口頭・実技）	%			
	平常点	%			
授業計画（1回～30回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	パートナーストレッチングとは		ストレッチングを理解する		
2回	機能解剖学とストレッチング		機能解剖学とストレッチングの関係について理解する		
3回	ケガとストレッチングの関係		ケガとストレッチングの関係について理解する		
4回	安全なパートナーストレッチングとは		安全なパートナーストレッチング指導のポイントを理解する		
5回	下肢のパートナーストレッチング		大腿部のストレッチングができる		
6回	下肢のパートナーストレッチング		臀部・内転筋群のストレッチングができる		
7回	下肢のパートナーストレッチング		下肢全体のストレッチングができる		
8回	上肢のパートナーストレッチング		上肢のストレッチングができる		
9回	上肢のパートナーストレッチング		肩甲帯のストレッチングができる		
10回	上肢のパートナーストレッチング		上肢全体のストレッチングができる		
11回	パートナーストレッチングの応用		様々なパートナーストレッチングの応用を理解できる		
12回	パートナーストレッチングの応用		様々なパートナーストレッチングの応用を実施できる		
13回	パートナーストレッチングの応用		様々なパートナーストレッチングの応用を実施できる		
14回	まとめ		理論を全体的に理解し、覚えている		
15回	まとめ		実技を安全・効果的に実施できる		

回	授業内容	各回の到達目標
1 6 回	キネシオテーピングとは	キネシオテーピング理論を理解できる
1 7 回	テープの取り扱い方	適切にテープw取り扱う事ができる
1 8 回	下腿のテーピング	下腿のテーピングが理解できる
1 9 回	下腿のテーピング	下腿のテーピングが実践できる
2 0 回	大腿のテーピング	大腿のテーピングが理解できる
2 1 回	大腿のテーピング	大腿のテーピングが実践できる
2 2 回	腰部のテーピング	腰部のテーピングが理解できる
2 3 回	腰部のテーピング	腰部のテーピングが実践できる
2 4 回	肩部のテーピング	肩部のテーピングが理解できる
2 5 回	肩部のテーピング	肩部のテーピングが実践できる
2 6 回	上腕のテーピング	上腕のテーピングが理解できる
2 7 回	上腕のテーピング	上腕のテーピングが実践できる
2 8 回	前腕・手のテーピング	前腕・手のテーピングが理解できる
2 9 回	前腕・手のテーピング	前腕・手のテーピングが実践できる
3 0 回	応用	応用テクニックを理解できる